



からくれないに

|||



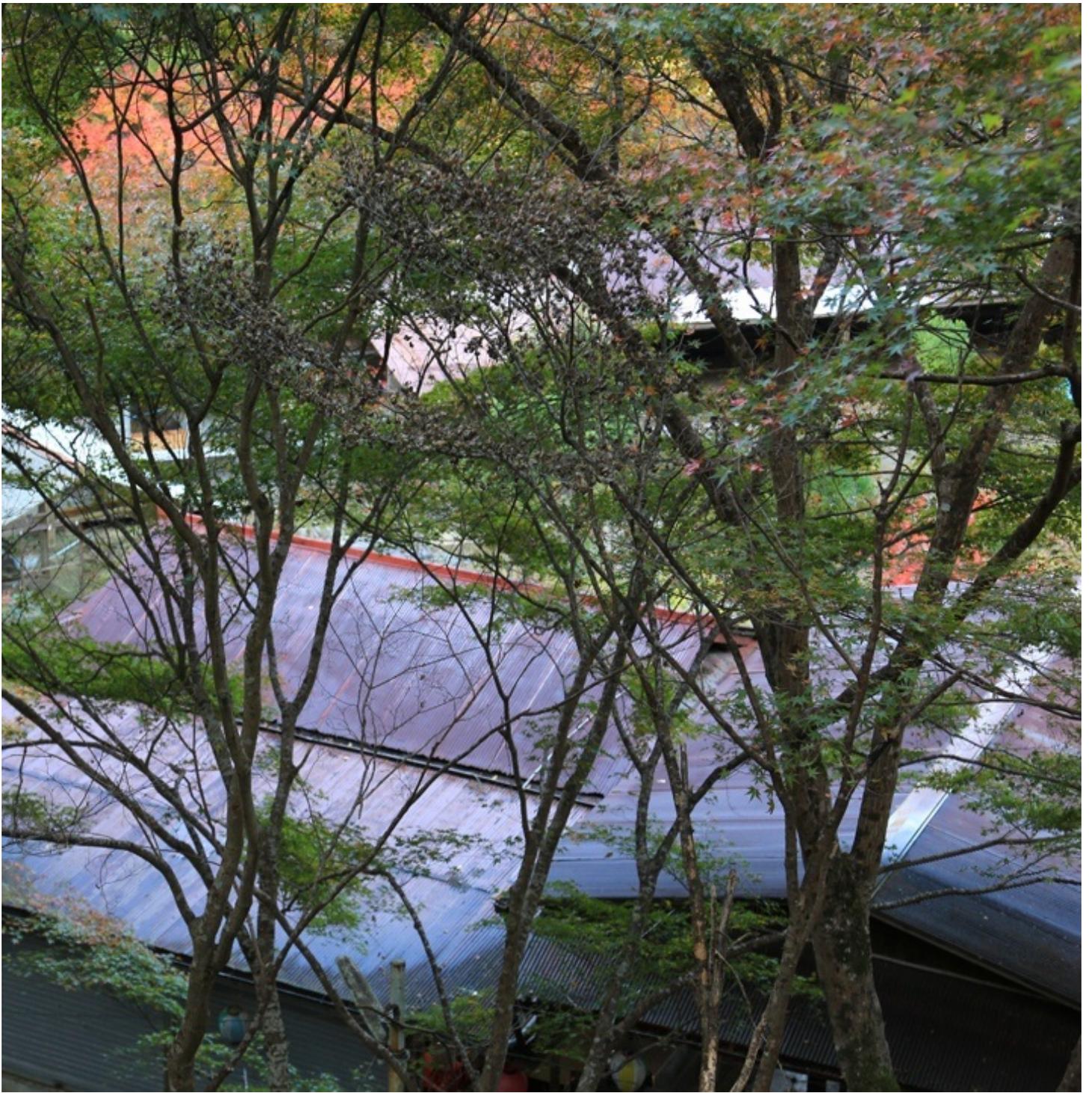
まだ夜が明けてさほどもたっていない空
予報では4℃

冬だな。



京都市の中心地、四条烏丸から8号系統のバスに乗って約50分
電車だったら大阪を越えて神戸あたりまで行ってる。

バス停で降りて、さてどっちに行ったものやらと
(山奥過ぎて方向感覚がおかしくなってる)
ふと振り返るとこの矢印が、、、
小学生の方が上手いな。



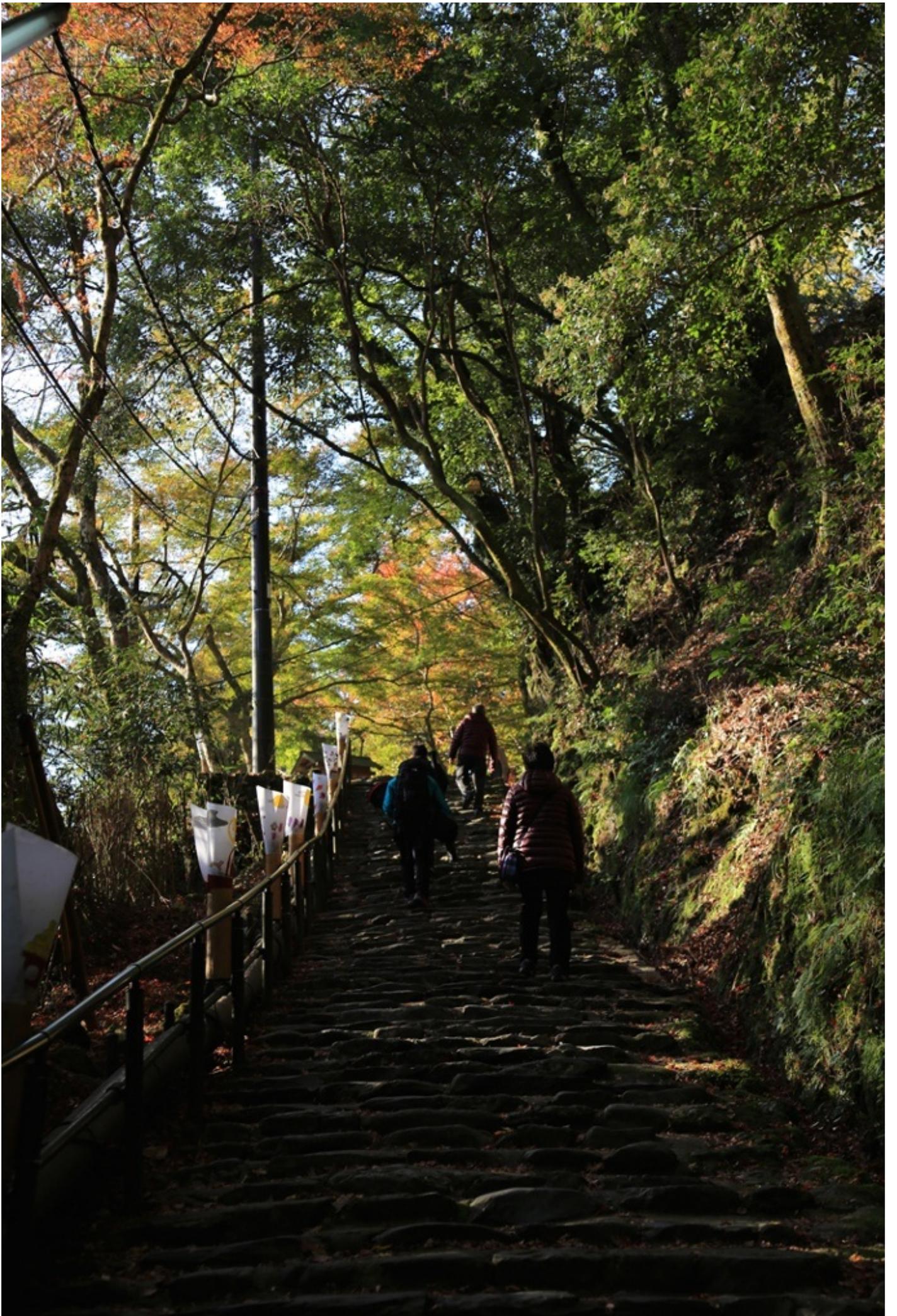
茶店のトタン屋根が霜でびっしょり
市内で4℃だからここだったら、、、
考えないことにしよう。



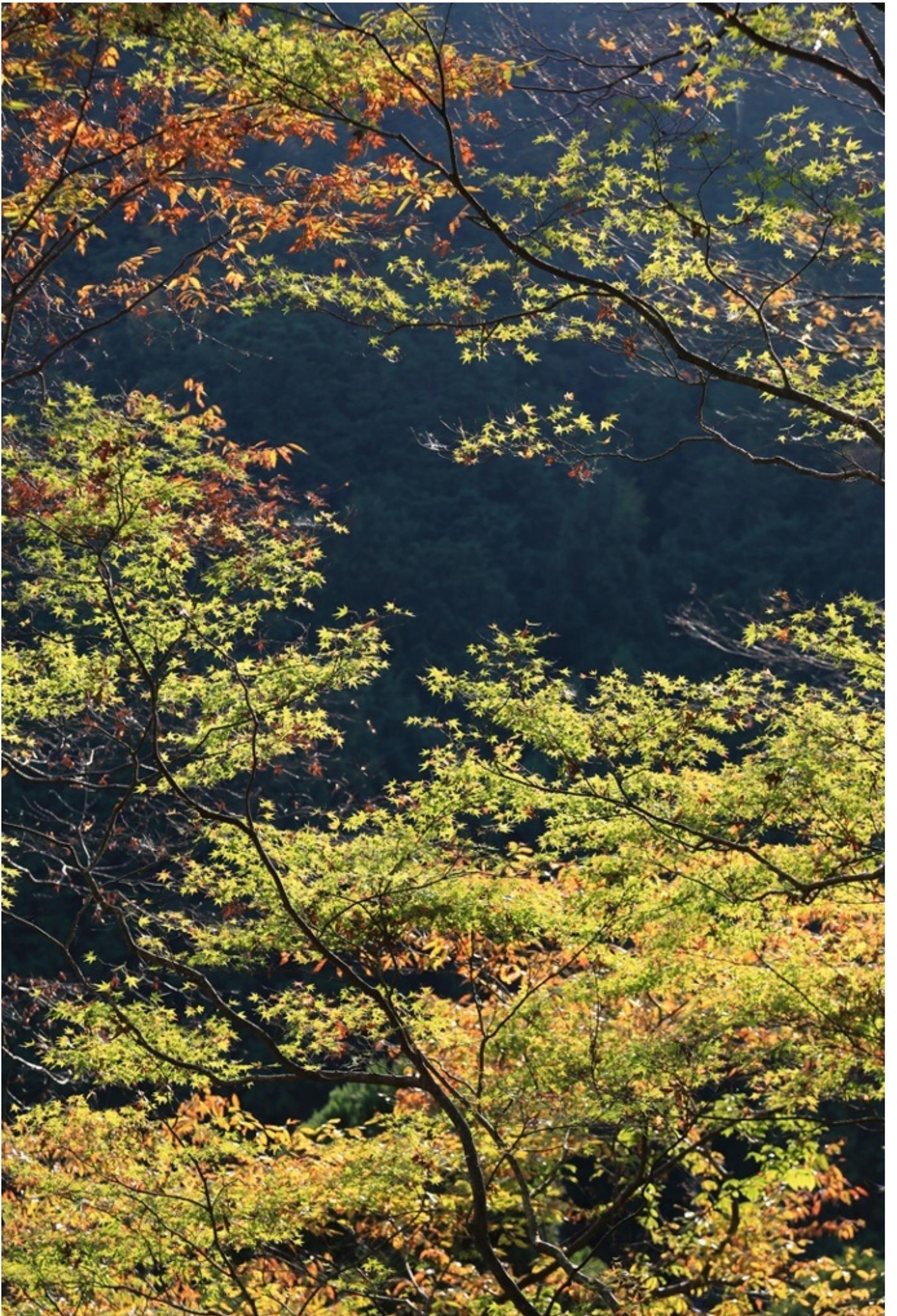
半分溶けたハッカドロップのような月



落ちたら凍え死にそうな川

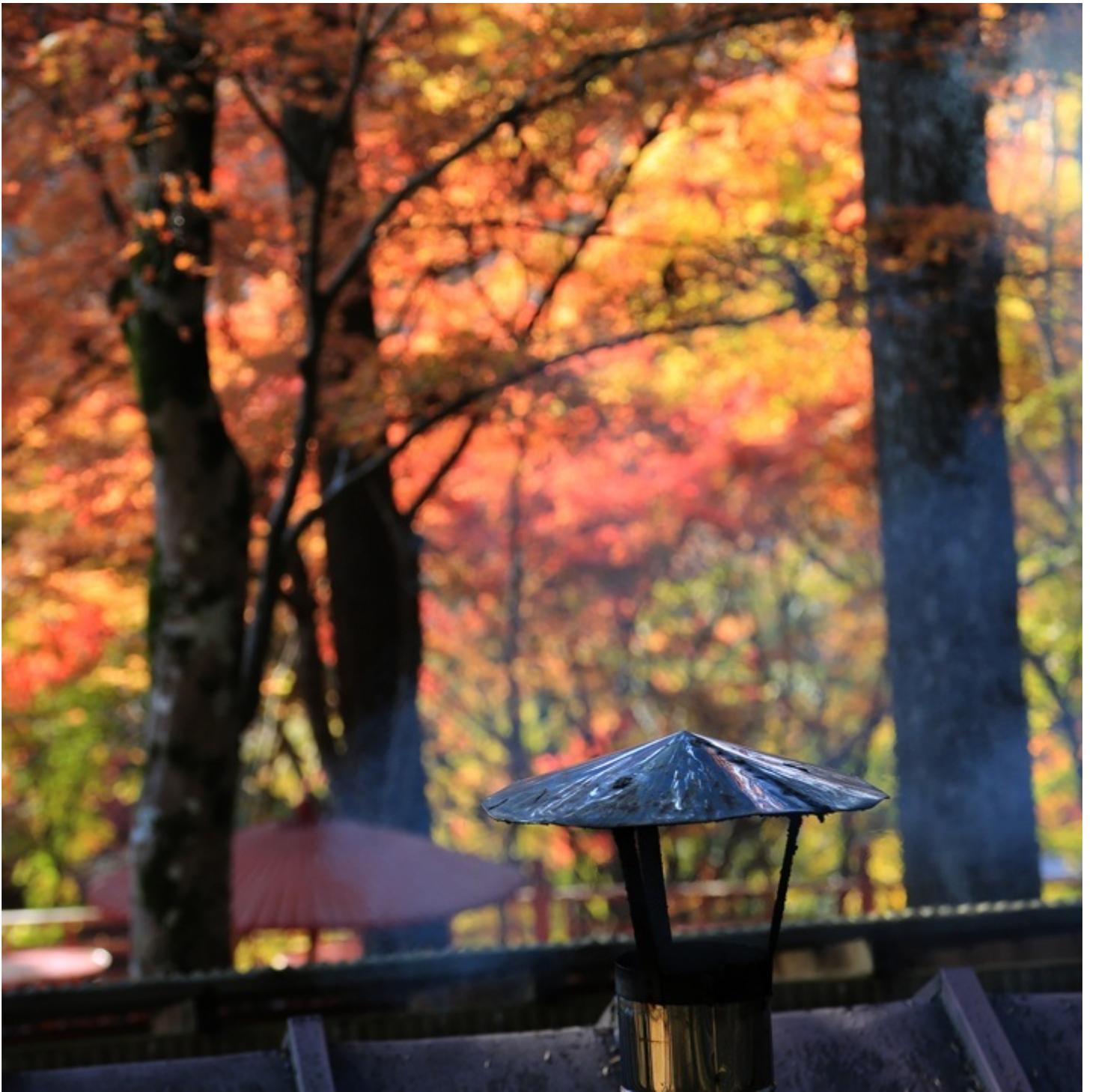


ようやく日が差してきたけれど、この石段が
延々と、延々と、、、









開店準備中の茶店の煙突
おもちでも焼いてるのかなあ。



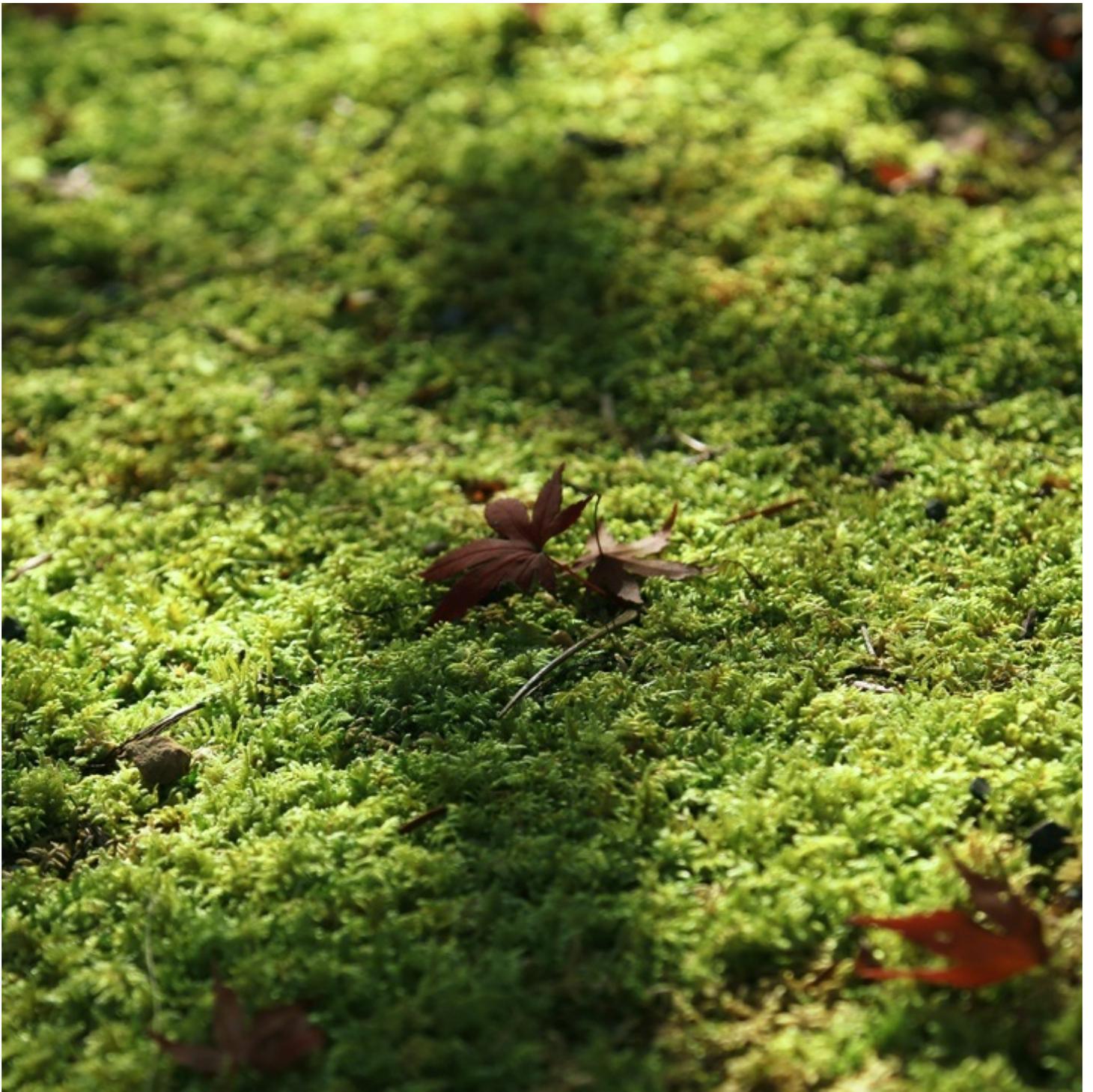
この石段を登り切れば山門
登れば、、、ね











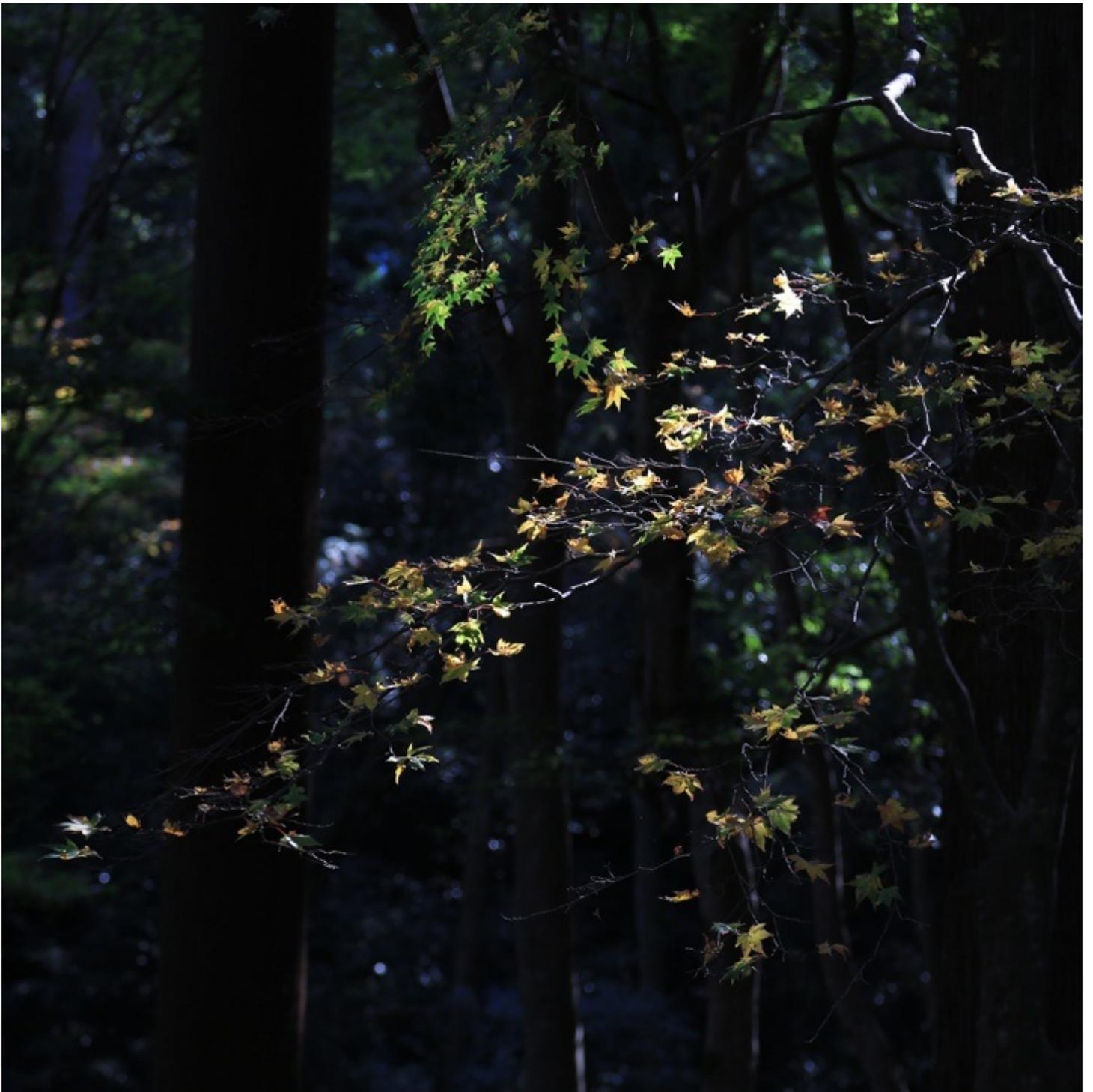










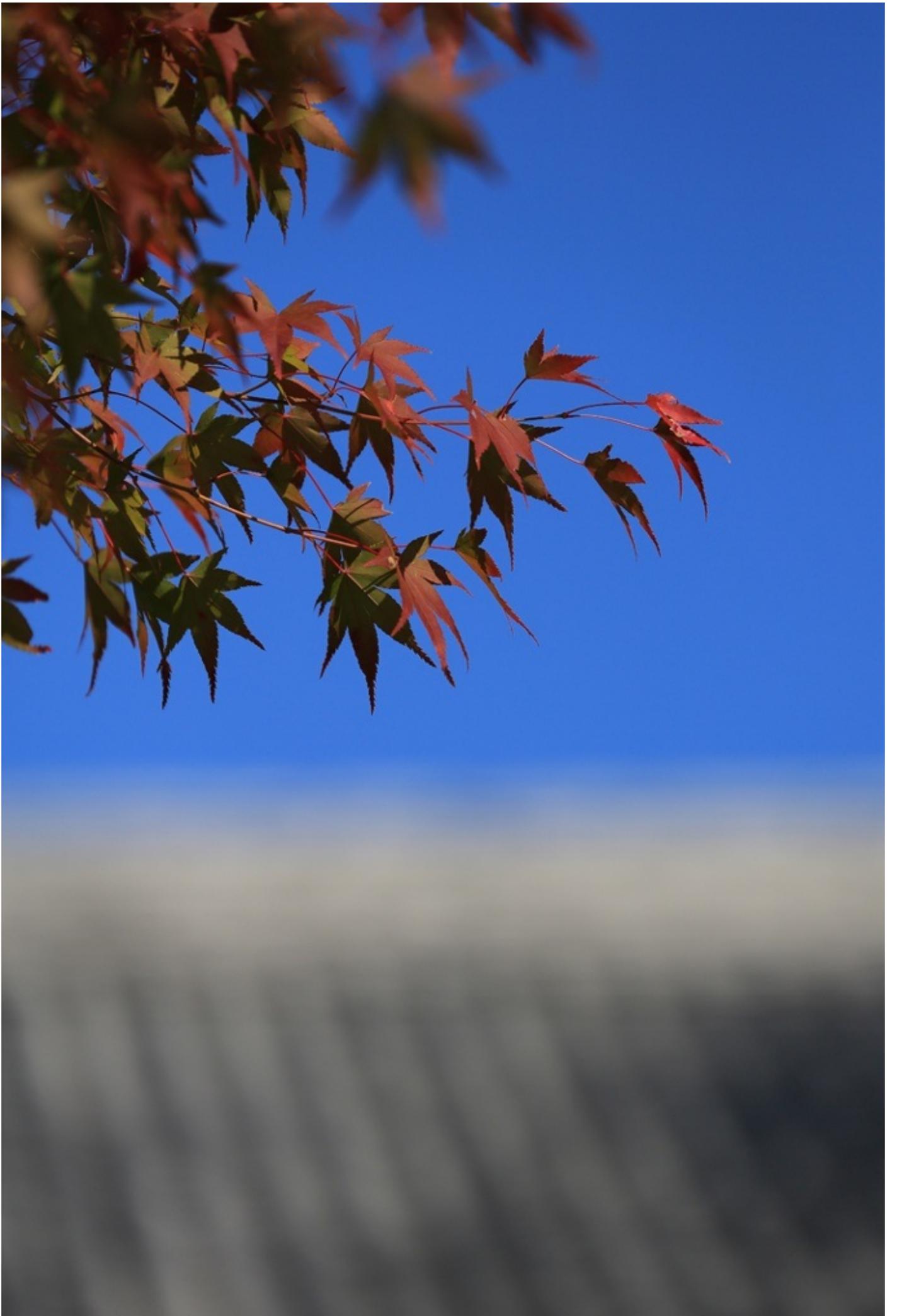






閑散としているようにみえますが、
そんなことは全くありません。

久しぶりに天気の良い休日で、京都で一番早く
見頃を迎えた神護寺です。



ほんまにええ天気やわあ。









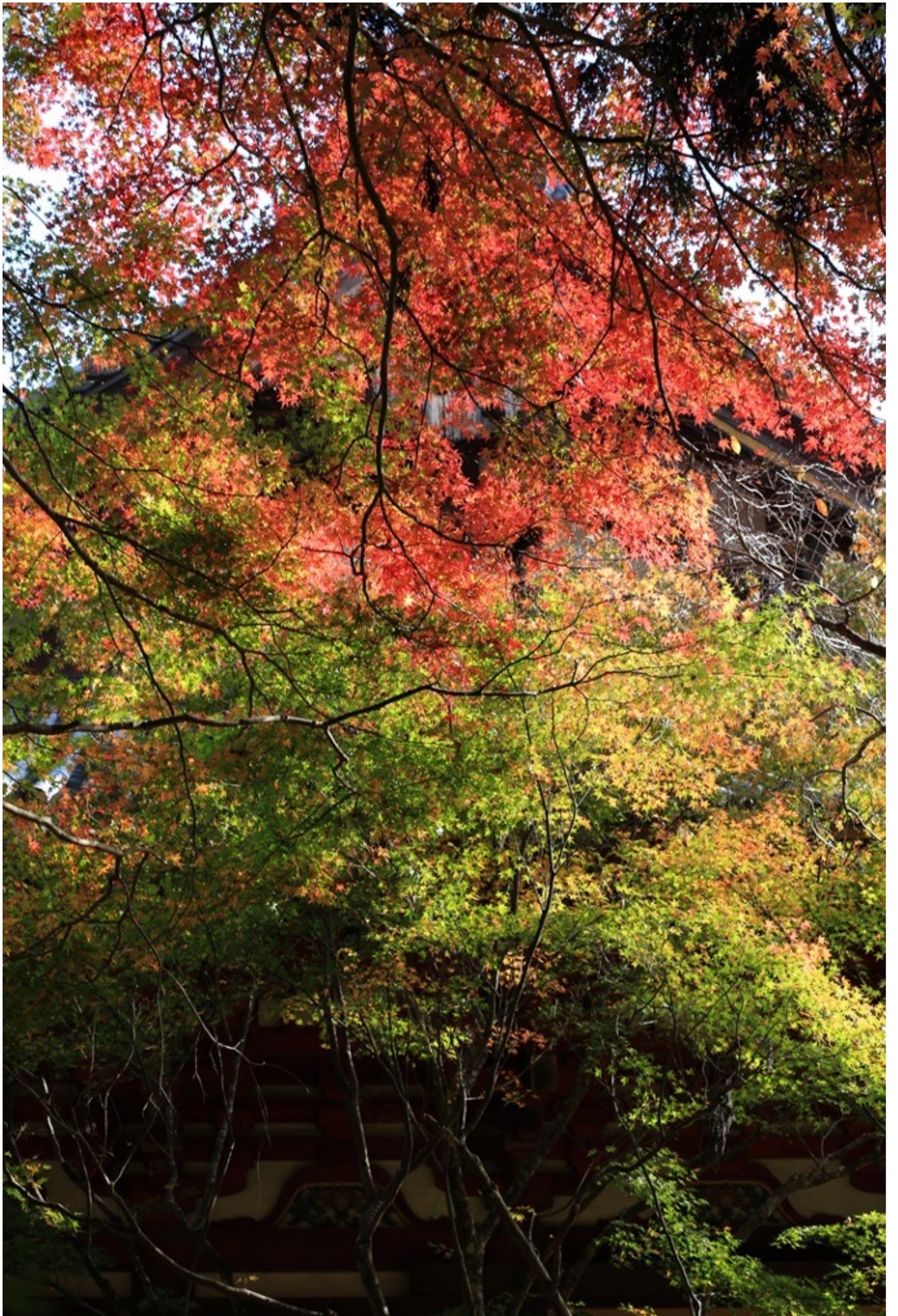




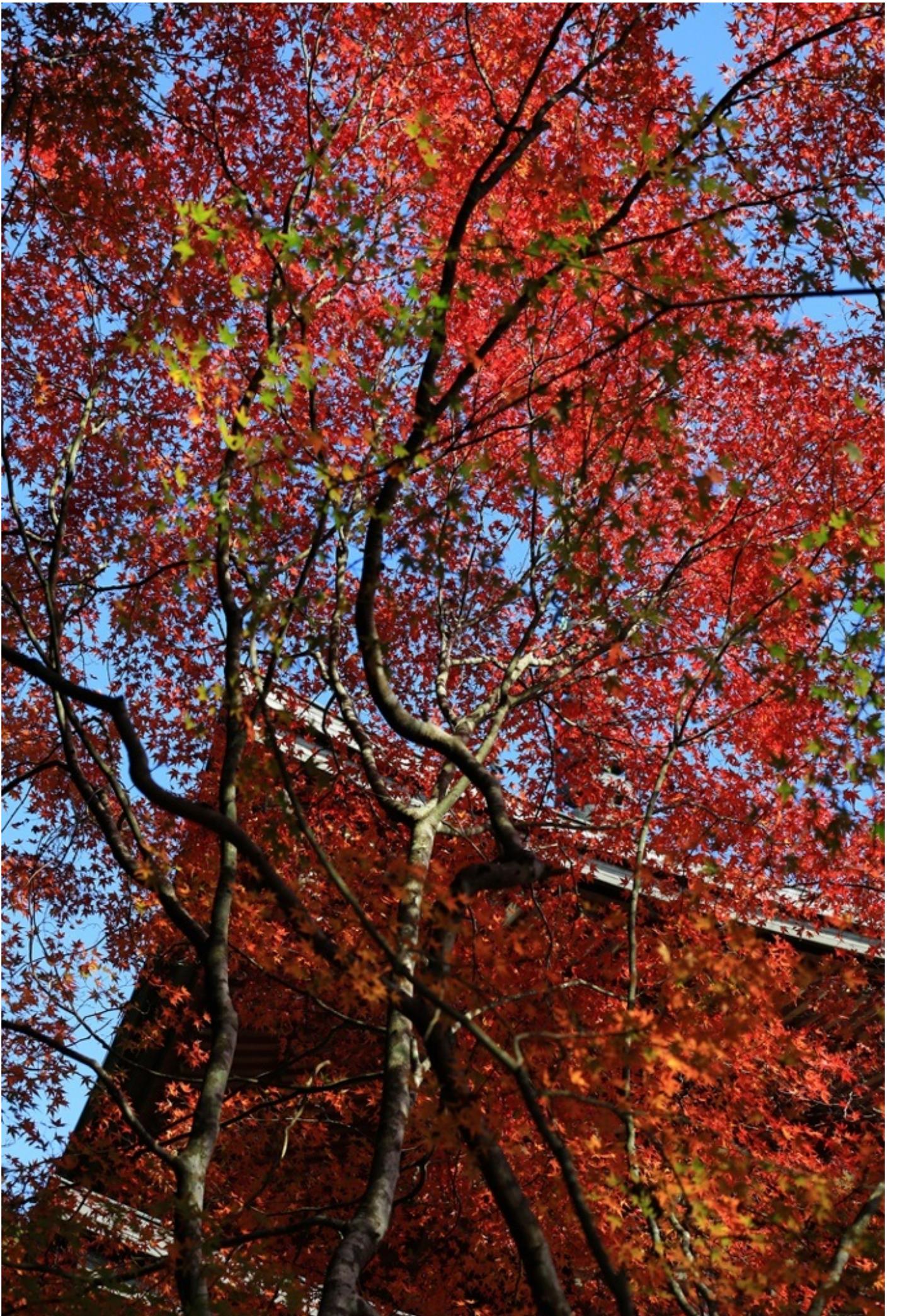










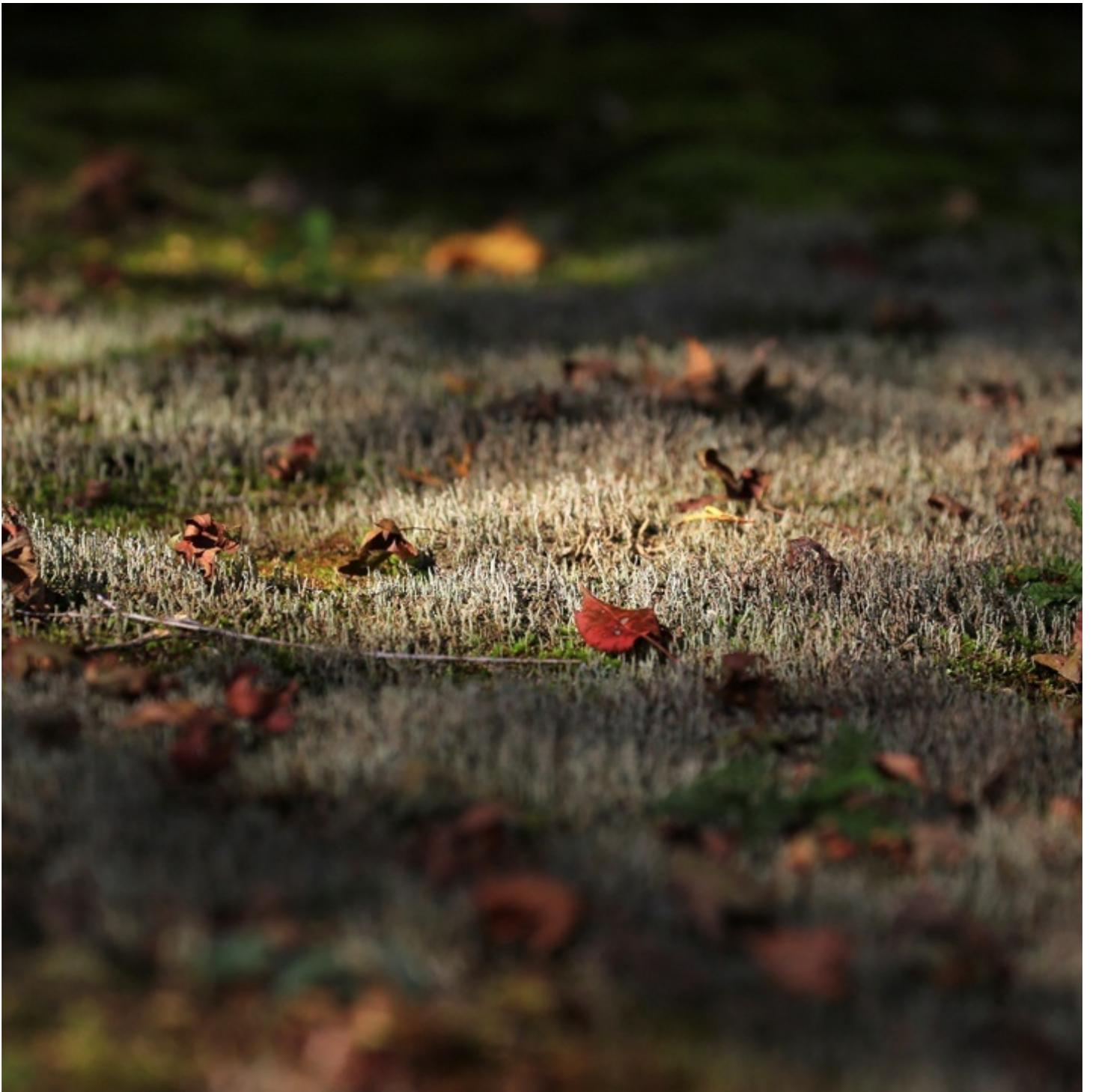


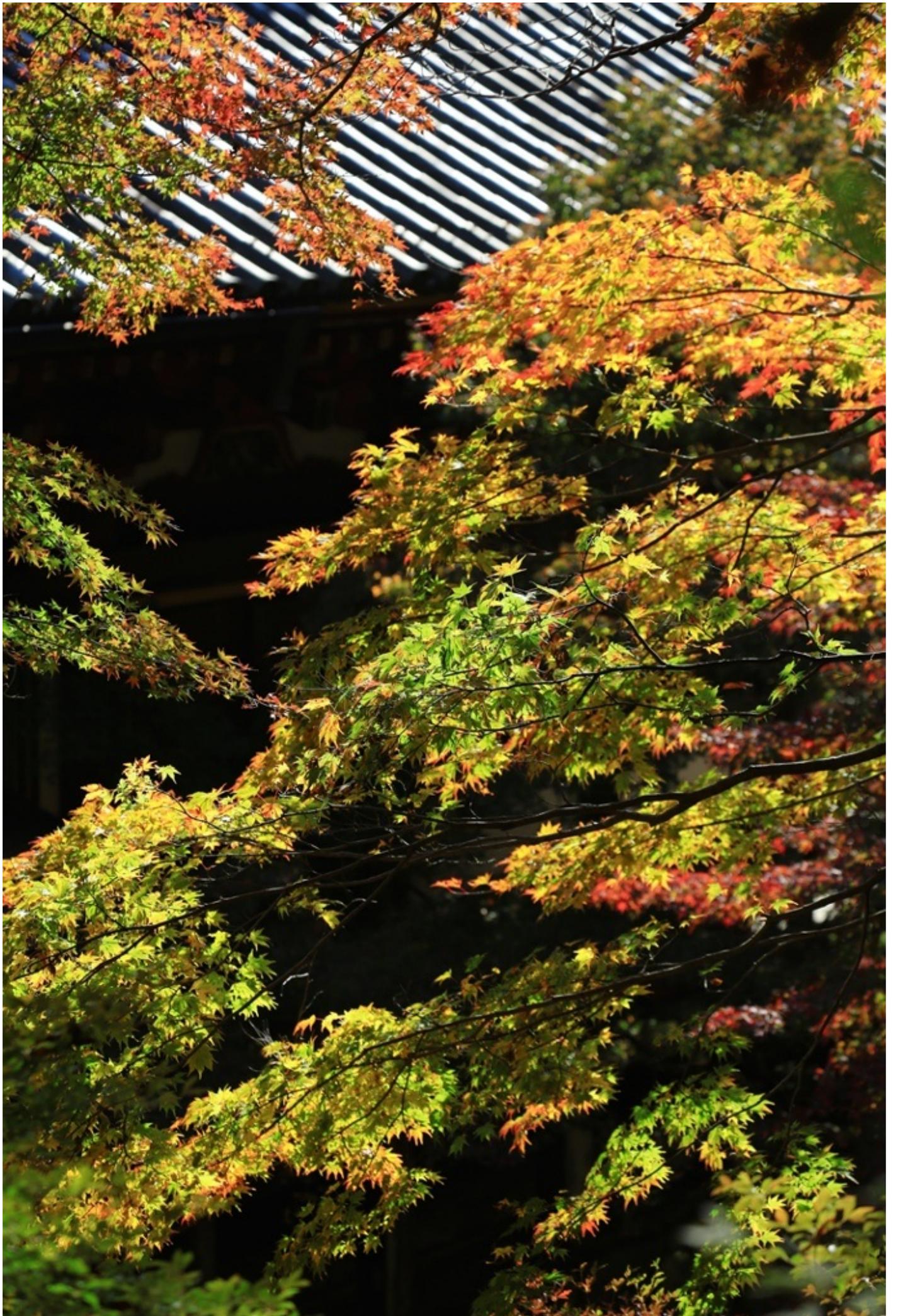




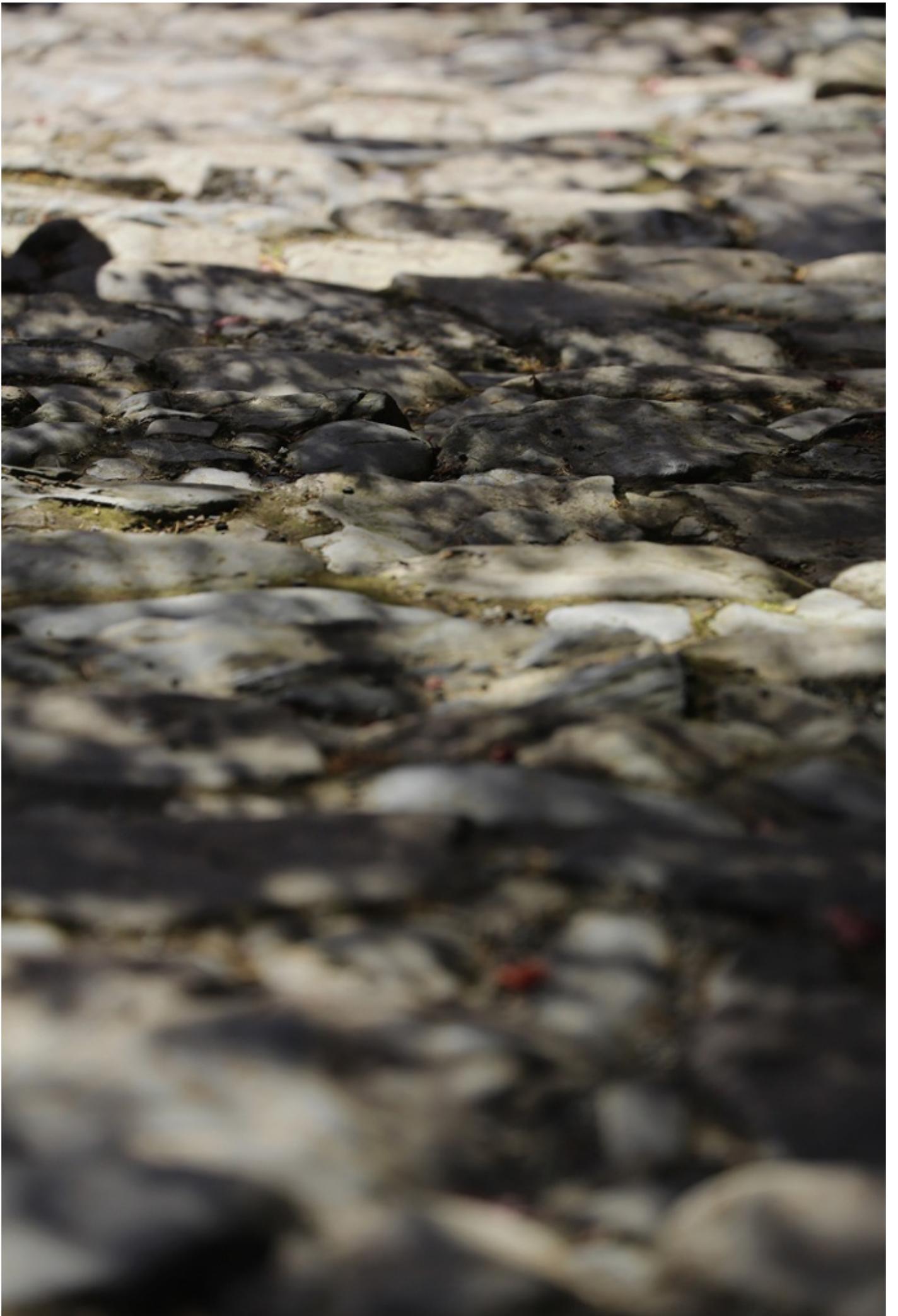














カメラを落として1回休み









ただいま10:00ごろ
これからが、観光客が増えてくる頃。





帰りは清滝川に沿った遊歩道を下って行くことにしました。

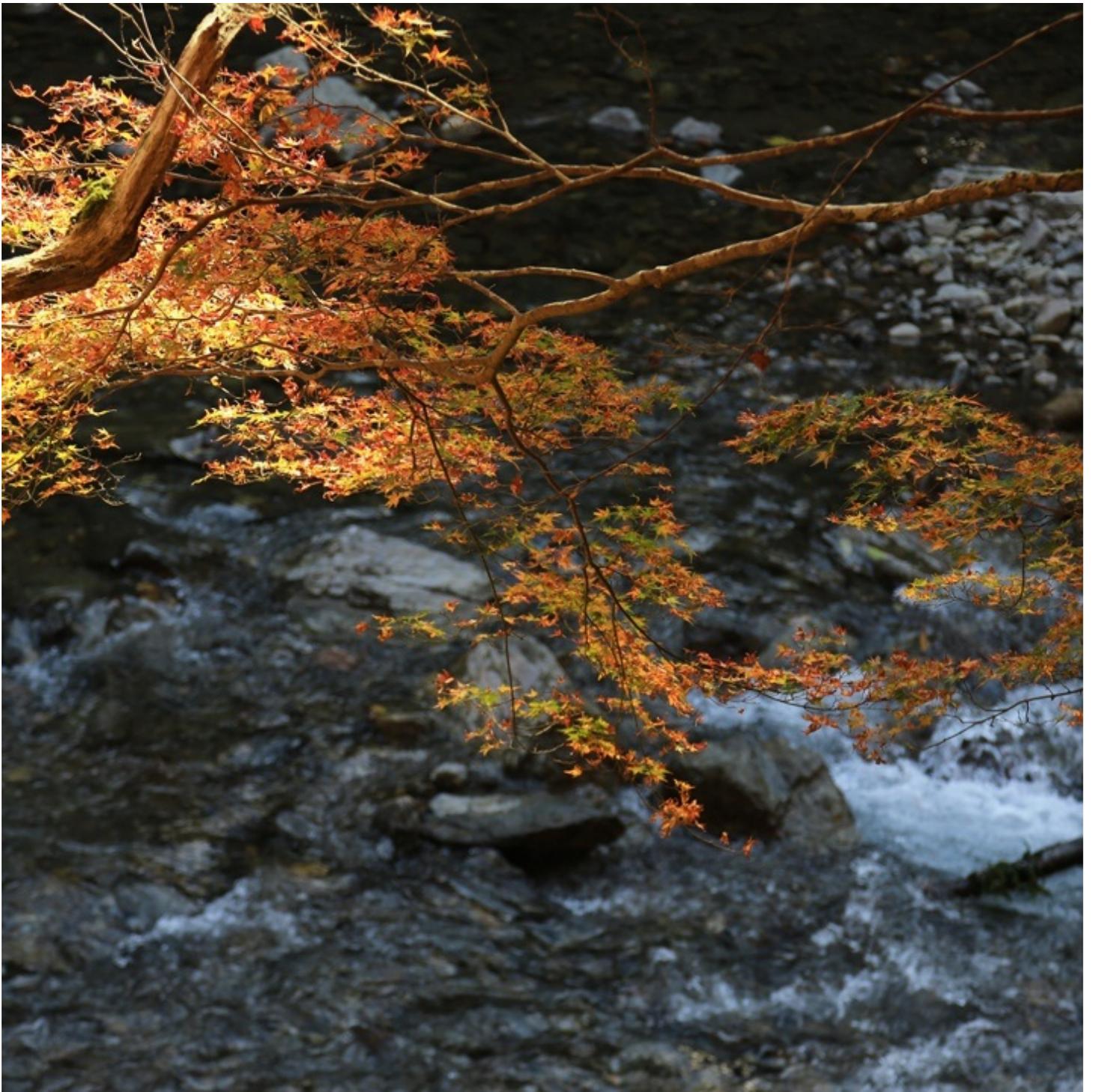
神護寺のある高尾のあたりは、川床や

料理旅館がたくさんあります。

今日も団体向けのお膳が用意されていました。

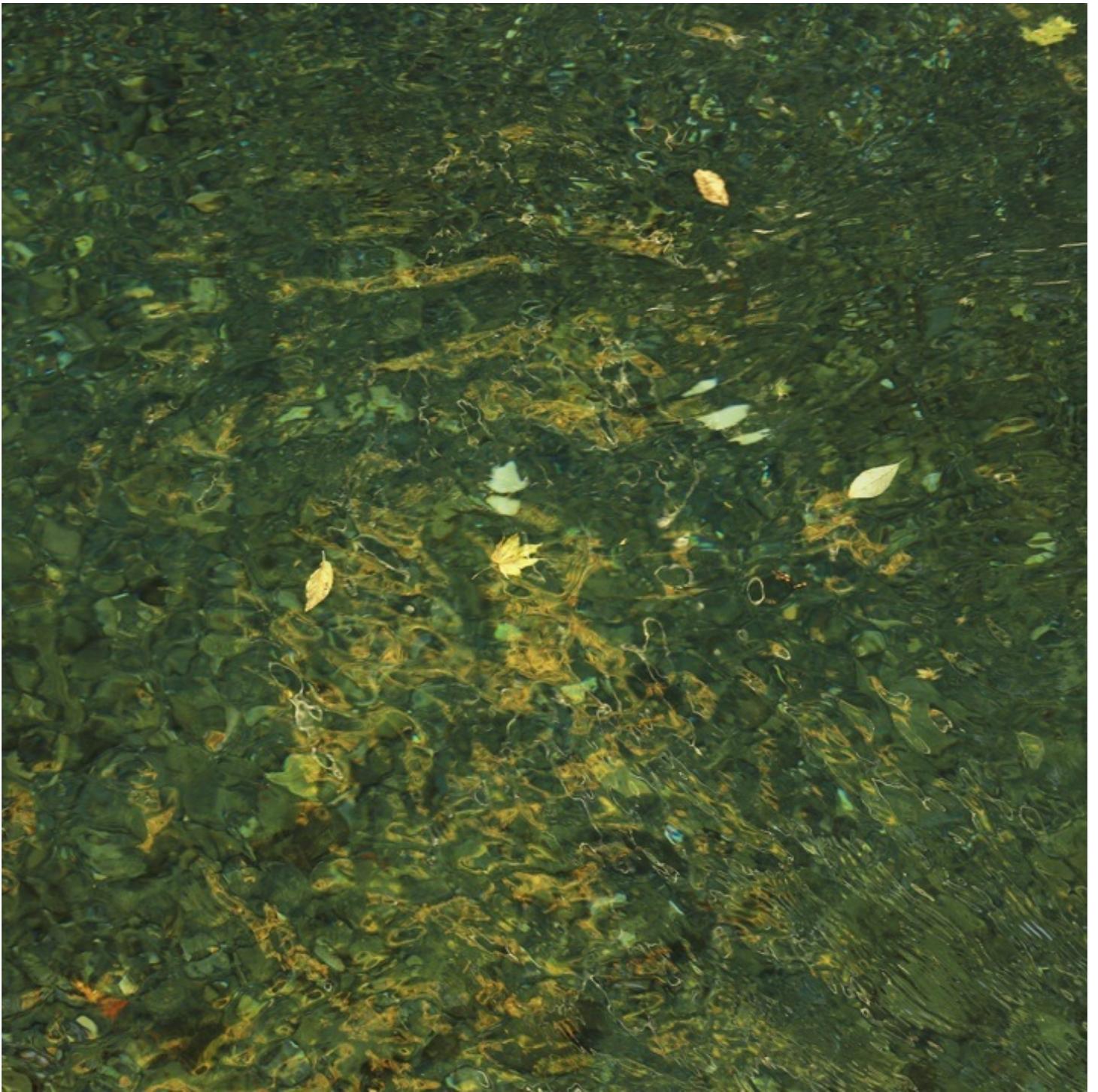
あまり泊まりたいとは思いませんが。

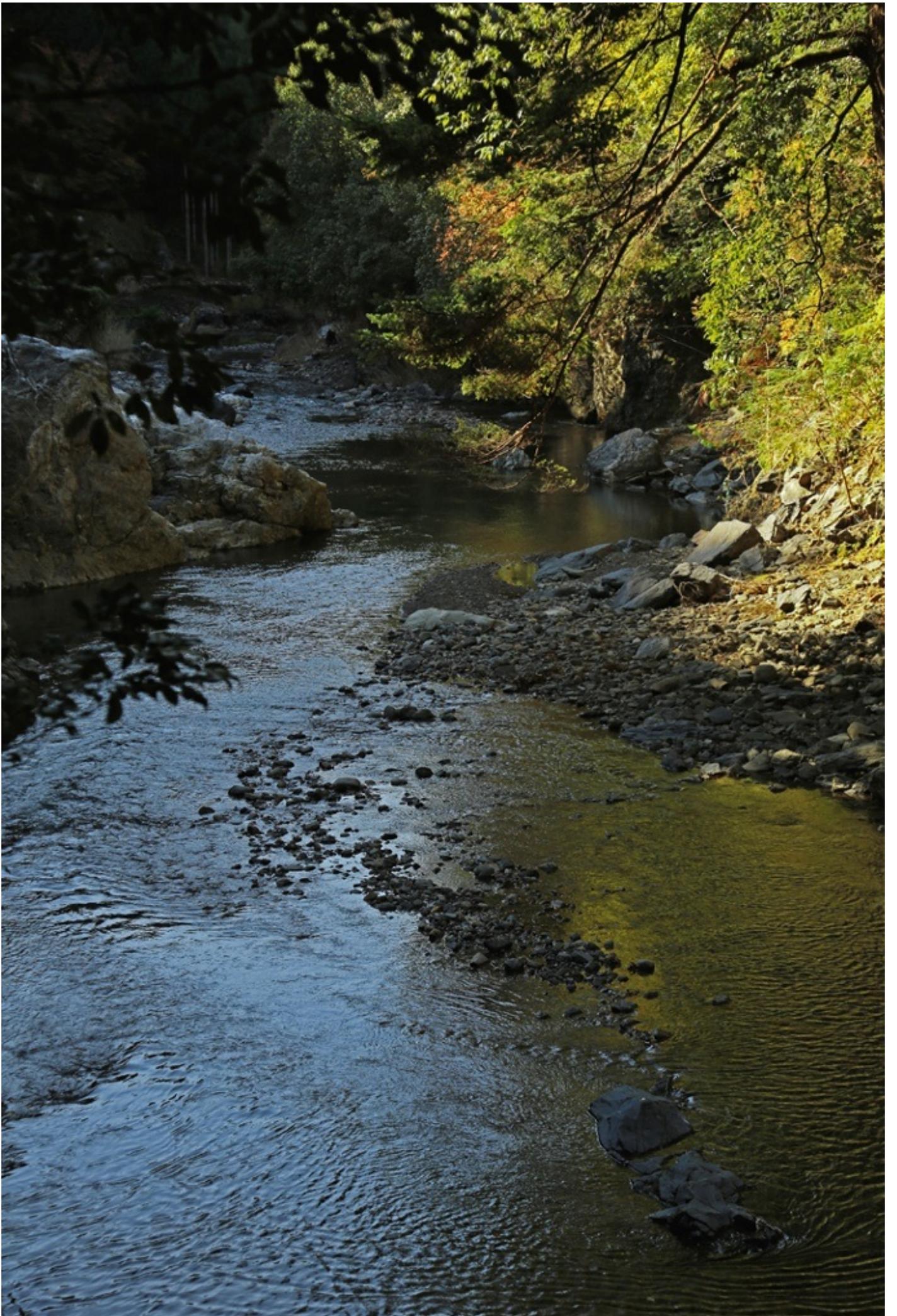




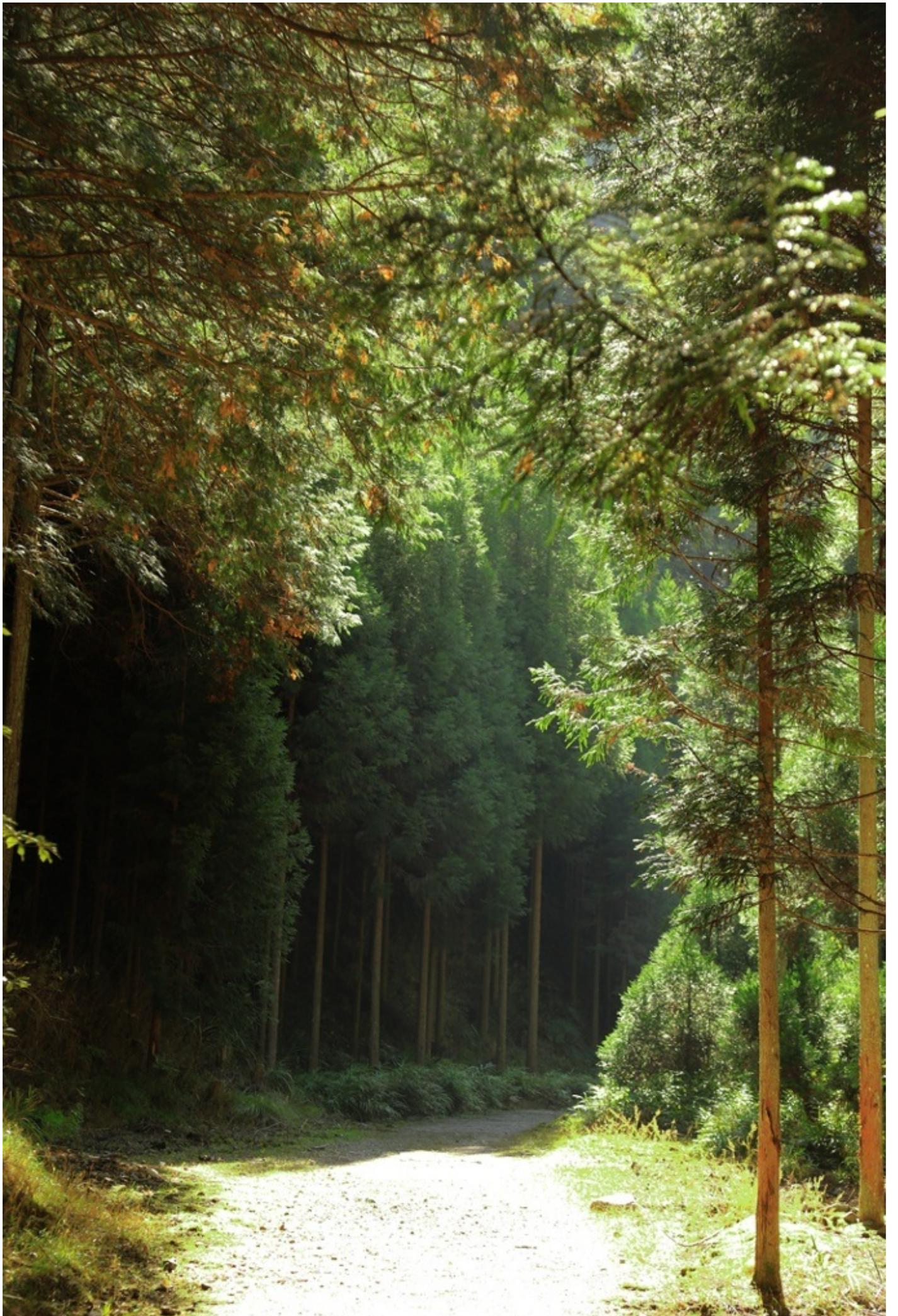
この清流が、保津峡から嵐山に流れていきます。

一足ごとに、気持ちが洗われていくいいトレイルロードです。

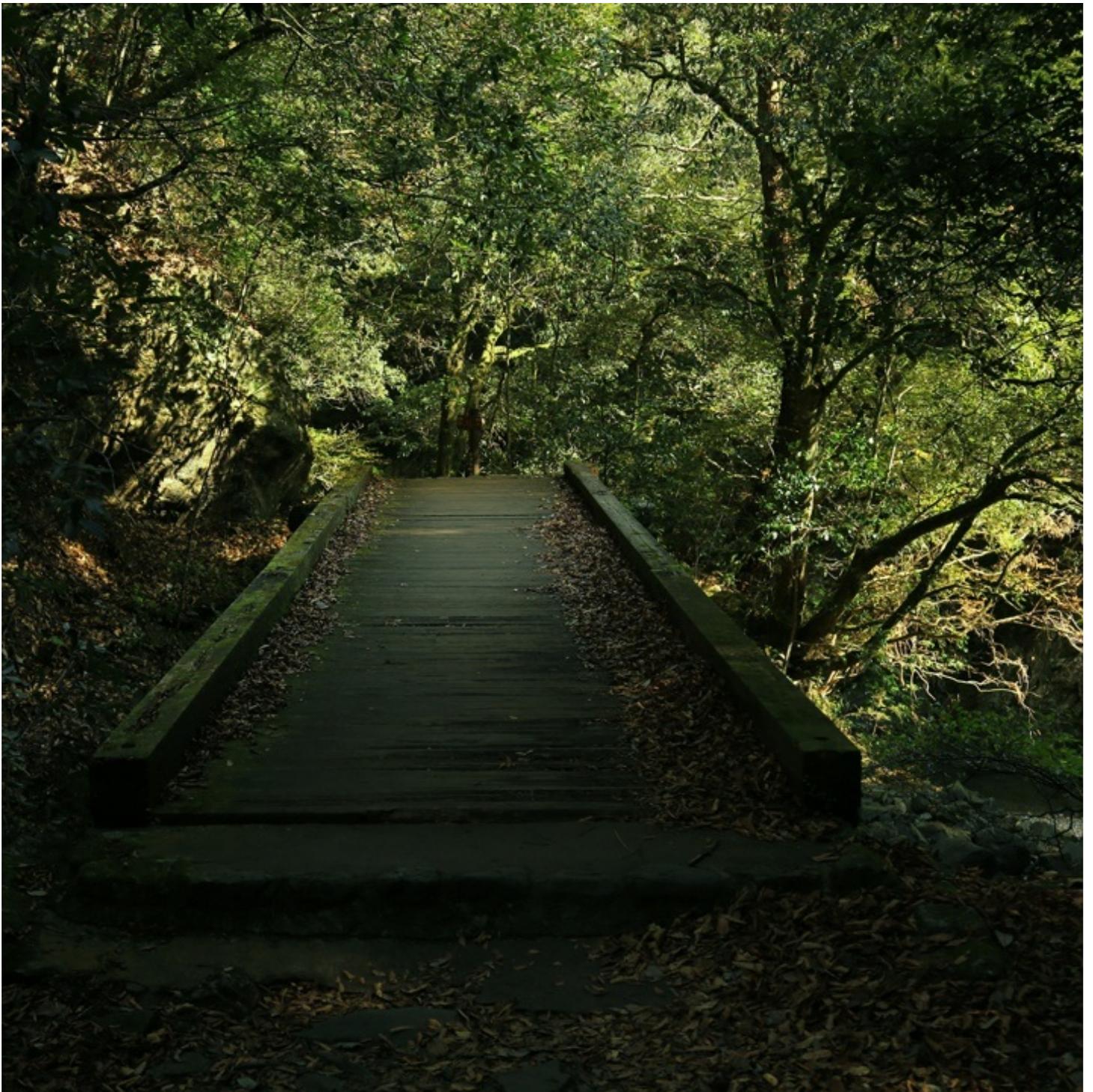








例のごとく閑散としているようにみえますが、
どんどん人が登ってきます。
じいさん、ばあさん、おばさん、山ガール。
若い男の人とはすれ違いませんでした。

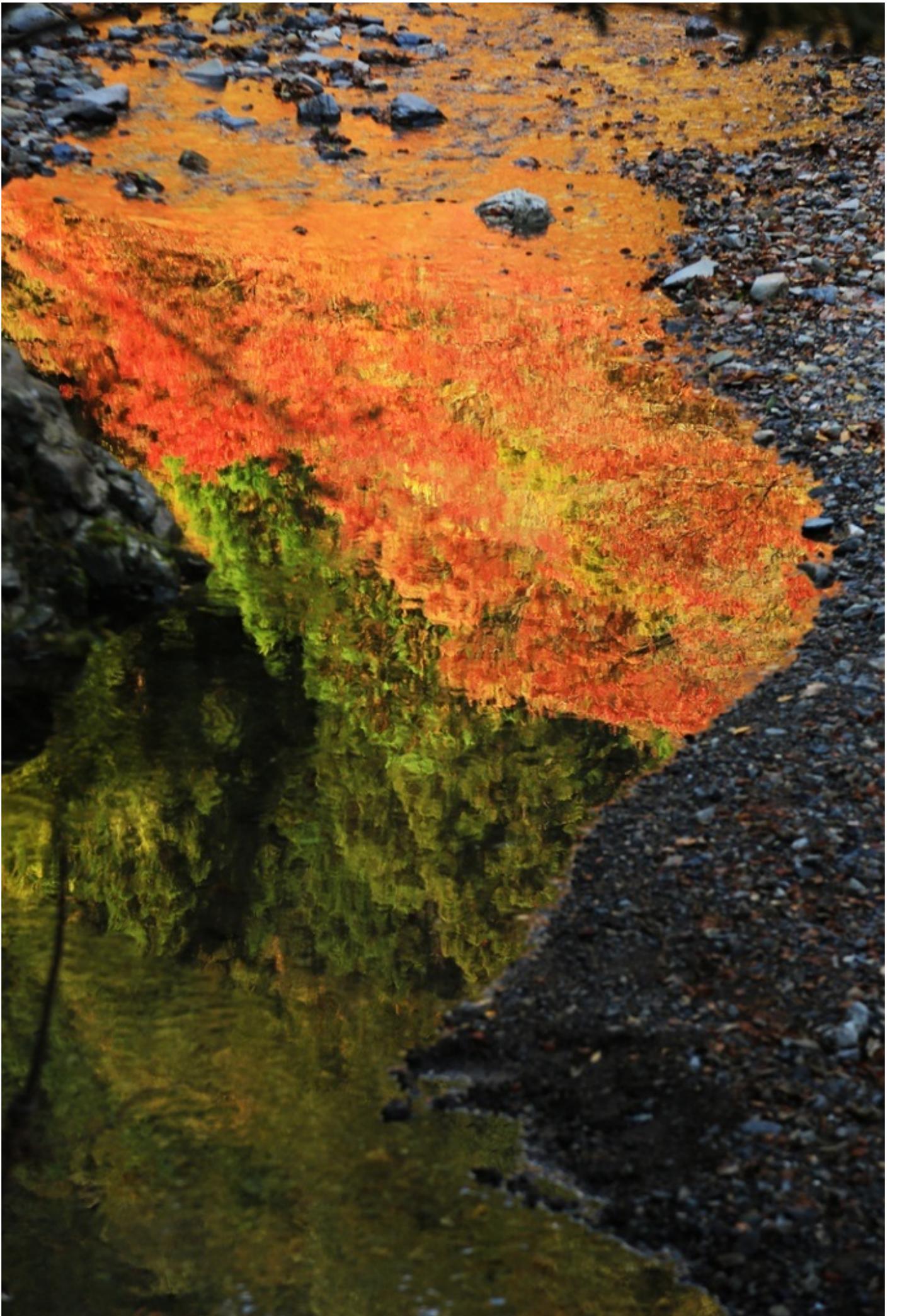


整備されてはいますが、長い登りが続きます。
ところどころ、滑りやすい自然の岩の上の細い道を
歩かないといけなところもあるので、
その厚い靴、出来れば山登り用の靴がいいでしょう。

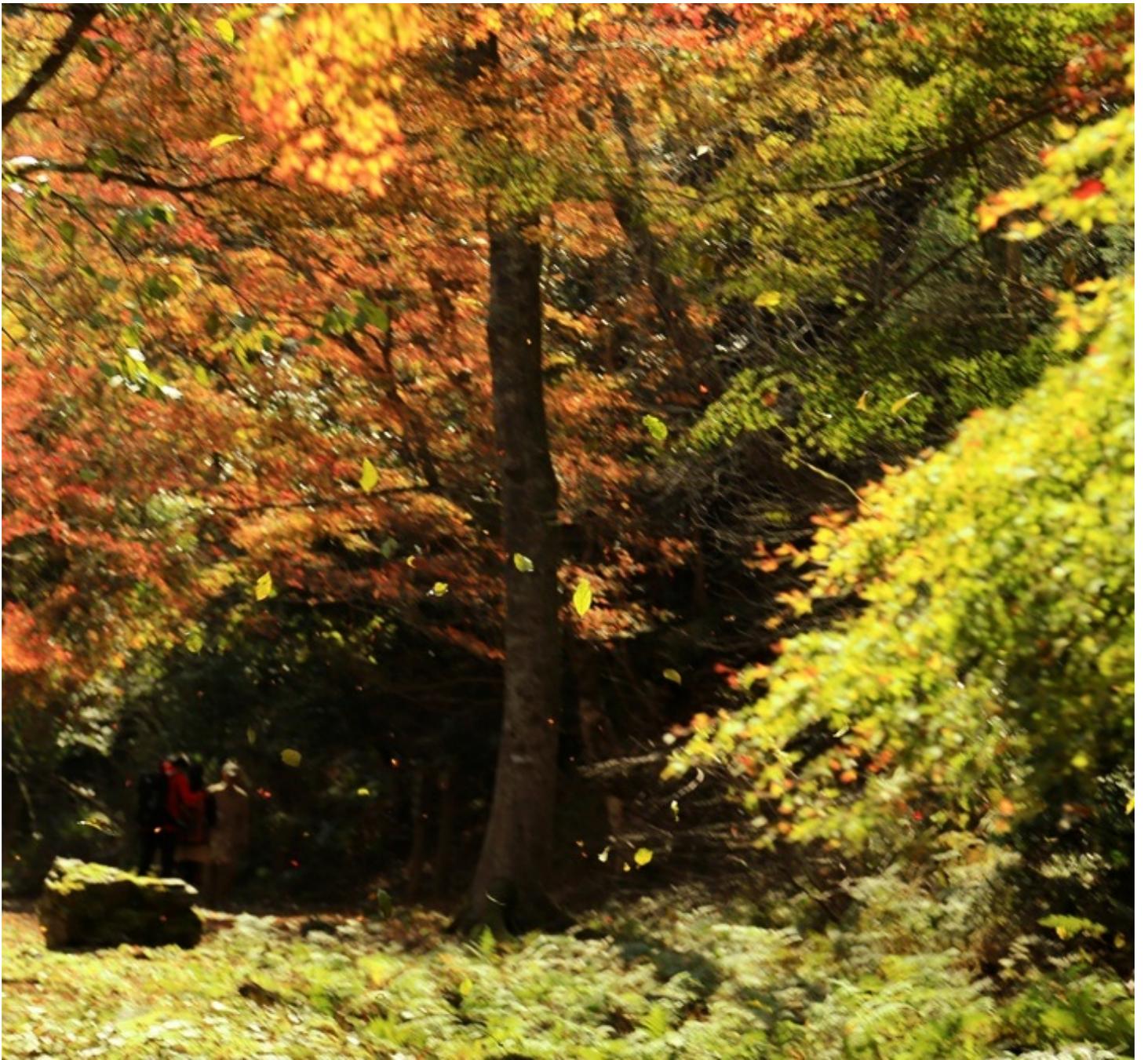












おまけ

最後はこの清滝トンネルです。



中はこんなです。



最初は出口が見えないので、ちょっとおっかないですが
京都ですから異界につながっていても
出てくるのはせいぜい魍魎魍魎の類でしょう。

Flower Garden II	http://p.booklog.jp/book/91633
Travelogue _ ep.05 山へ行く	http://p.booklog.jp/book/91128
Flower Garden	http://p.booklog.jp/book/90605
Travelogue _ ep.04 蓼科へ	http://p.booklog.jp/book/90182
passer un après-midi 9 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/89673
Monochroque	http://p.booklog.jp/book/89380
passer un après-midi 8 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/88976
passer un après-midi 7 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/88761
空と菖蒲と、蓮と	http://p.booklog.jp/book/88600
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3	http://p.booklog.jp/book/88419
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2	http://p.booklog.jp/book/88206
Travelogue _ ep.03 近つ淡海	http://p.booklog.jp/book/87975
passer un après-midi 6 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/87771
Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」	http://p.booklog.jp/book/87552
「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87350
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」	http://p.booklog.jp/book/87057
Photo 「花水硝」	http://p.booklog.jp/book/86821
「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86636
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」	http://p.booklog.jp/book/86313
「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86112
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」	http://p.booklog.jp/book/85799
「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/85513
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」	http://p.booklog.jp/book/85209
「passer un après-midi 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/84911
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」	http://p.booklog.jp/book/85209
「Travelogue ep.02 桜巡り」	http://p.booklog.jp/book/84667
「黄金の麦畑」	
1.Largo	http://p.booklog.jp/book/58662
2.Allegro molto	http://p.booklog.jp/book/83865

3.Adajo (連載中)

「黄昏の王国」

イーリアス編

<http://p.booklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」

<http://p.booklog.jp/book/84165>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」

<http://p.booklog.jp/book/83952>

「Travelogue ep.01」

<http://p.booklog.jp/book/83694>

Photo 「Hina」

<http://p.booklog.jp/book/83499>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」

<http://p.booklog.jp/book/82880>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」

<http://p.booklog.jp/book/82643>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」

<http://p.booklog.jp/book/82160>

Photo 「からくれないに ni」

<http://p.booklog.jp/book/81713>

Photo 「bleu, jaune, vermillion」

<http://p.booklog.jp/book/81111>

Photo 「H.45」

<http://p.booklog.jp/book/80229>

Photo 「Fly me to Paris I～XIV」

Photo 「祇王 こけのころも」

<http://p.booklog.jp/book/74864>

Photo 「空と雨と6月と」

<http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」

「ネガティブズ」

<http://p.booklog.jp/book/73051>

Photo 「空と僕と自転車とni」

<http://p.booklog.jp/book/72996>

Photo 「空と僕と自転車と」

<http://p.booklog.jp/book/72092>

Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」

<http://p.booklog.jp/book/71344>

Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」

<http://p.booklog.jp/book/70700>

Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」

<http://p.booklog.jp/book/70137>

Photo 「空と月と、夜桜デート」

<http://p.booklog.jp/book/69415>

Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」

<http://p.booklog.jp/book/68722>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」

<http://p.booklog.jp/book/65536>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」

<http://p.booklog.jp/book/64153>

Photo 「空と木とたまに月」

<http://p.booklog.jp/book/62540>

Photo 「からくれないに」

<http://p.booklog.jp/book/61473>

Photo 「空と雲と、ときどき月」	http://p.booklog.jp/book/36294
Photo 「夢みる桜」	http://p.booklog.jp/book/45286
— 僕カノシリーズ —	
「僕が彼女に殺された理由（わけ）」	http://p.booklog.jp/book/31906
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」	http://p.booklog.jp/book/35498
「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」	http://p.booklog.jp/book/36101
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」	http://p.booklog.jp/book/36617
「僕と彼女と複雑な関係者たち」	http://p.booklog.jp/book/37238
「僕と彼女と単純な関係式」	http://p.booklog.jp/book/37731
「僕と彼女と校庭で」	http://p.booklog.jp/book/38409
「僕と彼女と校庭で 夏」	http://p.booklog.jp/book/38977
「僕と彼女のエリア」	http://p.booklog.jp/book/46524
「僕と彼女のインベンション」（次回）	
— その他 —	
傘がない	http://p.booklog.jp/book/69798
夕暮れの赤ちょうちん	http://p.booklog.jp/book/42024
いもうと	http://p.booklog.jp/book/40794
サマータイム・ブルース	http://p.booklog.jp/book/34054
危険なドライビングマジック	http://p.booklog.jp/book/33630
デフラグメント	http://p.booklog.jp/book/33116
インフルエンス あのころの僕たち	http://p.booklog.jp/book/32752
花舞い、名残り雪	http://p.booklog.jp/book/32187
詞画集 「ただ憧憬だけを」	http://p.booklog.jp/book/34472
画集 「彼と彼女の表紙画集」	http://p.booklog.jp/book/39345